

平成30年度 全国学力・学習状況調査 本校の調査結果の概要について

<http://www.fujinominami-e.sapporo-c.ed.jp/>



今年度4月17日に6年生を対象として実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の結果について、既に6年生には個票を配付しておりますが、本校結果の概要をまとめましたのでお知らせいたします。

国語

本校の概要(全国平均との比較)

主として「知識」に関する問題(A)

- ▼ 「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
⇒ほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ▼▼ 「書くこと」
⇒下回っている。
- △ 「読むこと」
⇒ほぼ同程度であるが、やや上回る。

主として「活用」に関する問題(B)

- △ 「話すこと・聞くこと」「読むこと」
⇒ほぼ同程度であるが、やや上回る
- ▼▼ 「書くこと」
⇒下回っている。

※ B問題は、3領域のみです。

今回の調査における課題

- ▼自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。
- ▼文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。
- ▼学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
- ▼目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- ▼目的や意図に応じて、文章全体の効果を考える。

改善の方向

- △表現したいことの順番や段落の構成などを意識して文章を書く活動の充実。
- △主語と述語、修飾語や接続詞などの基本的な文型を意識しながら文章を書く活動の充実。
- △学習した漢字を字形に注意しながら繰り返し書いて練習したり、漢字の意味を考えながら、文や文章の中で正しく使ったりする活動の充実。
- △目的や意図に合う事例を挙げることにより、自分の考えを具体化したり、相手の理解を促すことができるかを判断したり、必要な資料を集め、適切に関係付けて書いたりする活動の充実。
- △目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりなど、読み手にわかりやすい表現方法を考える活動の充実。

算数

本校の概要(全国平均との比較)

主として「知識」に関する問題(A)

- ▼ 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
⇒ほぼ同程度であるが、やや下回る。

主として「活用」に関する問題(B)

- △ 「数量関係」
⇒ほぼ同程度であるが、やや上回る。
- ▼ 「数と計算」
⇒ほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ▼▼ 「図形」「量と測定」
⇒下回っている。

今回の調査における課題

- ▼小数の除法の意味について理解している。
- ▼分度器等の用具を用いたり、角の大きさを回転の大きさと捉えたりして角の大きさを求める。
- ▼円の直径と円周の長さの関係や円周率の意味について理解している。
- ▼図形を見いだす際に図形の構成要素や性質を基に観察したり、判断したり、説明したりすること。
- ▼問題の内容について、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述する。
- ▼示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を数学的に表現すること。

改善の方向

- △小数の四則計算について、具体的な場面と関連付けながら理解できるようにする指導の工夫。
- △角の大きさの検討を付けて、角の大きさを測定したり、測定の結果を振り返って確かめたりする授業の工夫。
- △各図形の特徴や周囲の長さ、面積の求め方などを具体的な操作活動を通して理解していく活動の充実。
- △正多角形の内角や外角の大きさ等について敷き詰め等の活動を通して性質を見いだしたりする指導の工夫。
- △言葉や数、式、図などに対応させながら解釈する活動を取り入れ、問題の解決のために、理論立てて説明する活動の充実。
- △算数の問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見いだした数量の関係を式で表現する活動の充実。

理科

本校の概要（全国平均との比較）

A区分

- ▼▼「物質」「エネルギー」
⇒下回っている。

※2領域

B区分

- ▼▼「生命」「地球」
⇒下回っている。

※2領域

今回の調査における課題

- ▼乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用することができる。
- ▼ものを水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することができる。
- ▼人の腕が曲がる仕組みを模型に適用することができる。
- ▼土砂の堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

改善の方向

- △学習を通して明らかになった性質や働きを活用したものづくりを行ったり、それが目的に合っているか振り返ったりするなど、必要に応じて工夫・改善できるようにする指導の充実。
- △既習の内容や生活経験と関係付けて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えるような活動の充実。
- △主体的な問題解決の活動を通して獲得した知識を、自然や日常生活などの他の場面に適応して考える際、図や模型等を用いる等の学習の場の工夫。
- △「地球」の領域における目的に合わせた観察・実験を位置付け、得られた結果を基に自然の事物・現象を科学的な言葉で説明するなどの活動の充実。